



安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	油（ゆ）とりクリーナー OILSPONGE UNIVERSAL CLEANER PLUS
製造元	OILSPONGE LLC 
住所	315 E. Warner Rd., Suite 3 Chandler, Arizona 85225 USA
輸入販売元	地崎道路株式会社
住所	東京都港区港南 2 丁目 13 番 31 号 品川 NSS ビル 6F
電話番号及び FAX 番号	TEL:03-5460-1031 FAX:03-5460-1036
販売担当部署	地崎道路(株) 北海道支店 環境事業部
住所	北海道恵庭市戸磯 201 番地 8
電話番号及び FAX 番号	TEL:0123-39-3101 FAX:0123-39-3102
電子メールアドレス	info@chizakiroad.co.jp
緊急連絡電話番号	011-231-2701（月～金 9：00 ～ 17：00）
推奨用途及び使用上の制限	クリーナー、脱脂剤
製品サイズ	1 gallon bottle（1 ガロンボトル入り） 約 3.785ℓ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	分類実施日	2024 年 5 月 30 日 事業者向け GHS 分類ガイダンス （令和元年度改訂版（Ver. 2.1））を使用
物理化学的危険性	爆発物	区分外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない



	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	分類対象外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分 3

注）上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の 11 項に、「分類対象外」、「区分外」または「分類できない」の記述がある。

GHS ラベル要素 絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による

甲状腺、肝臓、腎臓の障害のおそれ



注意書き

水生生物に非常に強い毒性

【安全対策】

適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水で少なくとも15分間以上洗うこと。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を求めること。

皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。

漏出物は回収すること。

3. 組成及び成分情報

混合物

化学名又は一般名	N, N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド
CAS番号	1643-20-5
濃度 wt%	8.5 - 10.5
化学名又は一般名	ココナッツジエタノールアミド
CAS番号：	68603-42-9
濃度 wt%	4 - 5.5
化学名又は一般名	クエン酸
CAS番号：	77-92-9
濃度 wt%	0.1 - 1, 1 - 1.5
化学名又は一般名	イソプロピルアルコール
CAS番号：	67-63-0
濃度 wt%	0.01 - 0.1, 0.1 - 1



4. 応急処置

一般的な注意事項	意識のない人には口から何も与えないこと。体調が悪い場合は、できる限りラベルを見せて医師の助言を求めること。
吸入した場合	症状が現れた場合は、屋外に出て、疑われる場所を換気すること。呼吸困難が続く場合は、医療の受診を求めること。
皮膚に付着した場合	少なくとも 15 分間、影響を受けた部位を水で洗い流すこと。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	少なくとも 60 分間、水で注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師の助言/注意を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	皮膚刺激を引き起こす。重篤な眼の損傷を引き起こす。発がんの疑いがある。
吸入した場合	長時間の露出は刺激を引き起こす可能性がある。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激を引き起こす。症状には赤み、痛み、腫れ、かゆみ、灼熱感、乾燥、皮膚炎が含まれる場合がある。
目に入った場合	角膜、虹彩、結膜に永久的な損傷を引き起こす。
飲み込んだ場合	有害な影響が生じる場合がある。 慢性的な症状： 発がんの疑いがある。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 熱、火花及び火災で発火するおそれがある。 下水溝に流れ込むと火災、爆発の危険がある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置



人体に対する注意事項、保護 具および緊急措置	作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』 の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 近傍での喫煙、火花や火炎の禁止。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
回収・中和	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理 する。
封じ込め及び浄化方法・機材	封じ込めには堤防や吸収材を使用して流出を防ぎ、下水道や水 路への侵入を防止すること。流出物を直ちに清掃すること。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎 の禁止）。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保 護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気 を行う。
保管	安全取扱い注意事項	皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
	接触回避	データなし
	混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤。
	保管条件	容器を密閉して冷乾所にて保存すること。直射日光、極端な高 温または低温、不適切な物質から離して保管すること。
	保管温度	0 - 60℃
	容器包装材料	データなし

8. ばく露防止及び保護措置



化学名	イソプロピルアルコール		
CAS 番号,	CAS No. 67-63-0		
管理濃度	200ppm		
許容濃度	最大許容濃度 400ppm, 980mg/m3	日本産衛学会 (2013 年度版)	
	TLV-TWA 200ppm , TLV-STEL 400ppm	ACGIH (2013 年版)	

設備対策		製造業者が指定する防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	桃色
	臭い	グリーンアップル
	pH	9 - 10
	融点・凝固点	データなし ・ 0 °C
	沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
	引火点	> 149 °C（推定値）



自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
20℃における相対蒸気密度	> 1 (空気 = 1)
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	データなし
比重 (密度)	1.02
溶解度	水に対して 100%可溶
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率 (導電率)	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	推奨された取り扱いおよび保管条件下では安定 (『7. 取り扱い 及び保管上の注意』を参照)
危険有害反応可能性	有害な重合反応は起こらない
避けるべき条件	直射日光、極端に高温または低温、および混触危険物質を避けること
混触危険物質	強酸、強塩基、強酸化剤
危険有害な分解生成物	熱分解により、以下のものが生成します：二酸化炭素 (CO ₂)、一酸化炭素 (CO)、窒素酸化物、硫黄酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激を引き起こす。
眼に対する重篤な損傷 ・刺激性	重篤な眼の損傷を引き起こす。
呼吸器感作性又は 皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	発がんの疑いがある
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器	分類できない



・全身毒性（単回ばく露）	
特定標的臓器	分類できない
・全身毒性（反復ばく露）	
吸引性呼吸器有害性	分類できない
◆ N, N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド（8.5 - 10.5%）	
急性毒性	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	CERI ハザードデータ集 2001-26（2002）のウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果の記述に、24時間適用で「強度の刺激性がみられた」とあることから、皮膚に強度の刺激性を与えるものと考え、区分2とした。
眼に対する重篤な損傷	CERI ハザードデータ集 2001-26（2002）のウサギを用いた眼刺激性試験の結果の記述に、「強度の刺激性を示した」とあることから、眼に対して強度の刺激性を有すると考え、区分2Aとした。
・刺激性	
呼吸器感作性又は	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし
皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	CERI ハザードデータ集 2001-26（2002）の記述から、経世代変異原性試験なし、生殖細胞/体細胞 in vivo 変異原性試験なし、生殖細胞/体細胞 in vivo 遺伝毒性試験なし、in vitro 変異原性試験で複数指標の（強）陽性結果なし、であることから分類できないとした。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

◆ N, N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド（8.5 - 10.5%）	
水生環境急性有害性	藻類（セテナストラム）の24-72時間ErC50=0.081mg/L（CERI・NITE 有害性評価書（暫定版）、2006）から、区分1とした。
水生環境慢性有害性	急性毒性が区分1、急速分解性があるものの（BODによる分解度：63%（既存化学物質安全性点検データ））、生物蓄積性に関する信頼できるデータが得られていないため、分類できない。



13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	UN No.	該当しない
国内規制	陸上規制情報	該当しない
	海上規制情報	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	特別安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
	緊急時応急措置指針番号	153

15. 適用法令

CAS 番号, 化学名	CAS No. 1643-20-5	N, N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド
適応法令	化管法指定化学物質の種別	優先評価化学物質 (No. 169)
	官報公示整理番号	(化審法) 2-198
	化学物質排出把握管理促進法 (化管法)	第1種指定化学物質
	環境基本法	水質要調査項目
CAS 番号, 化学名	CAS No. 68603-42-9	ココナッツジエタノールアミド
適応法令	化管法指定化学物質の種別	優先評価化学物質 (No. 173)
	官報公示整理番号	(化審法) 2-814

化学物質排出把握管理
促進法（化管法）
第1種指定化学物質

CAS 番号, 化学名	CAS No. 77-92-9	クエン酸
適応法令	化管法指定化学物質の種別	一般化学物質
	官報公示整理番号	2-1318
	海洋汚染防止法	有害液体物質乙類
CAS 番号, 化学名	CAS No. 67-63-0	イソプロピルアルコール
適応法令	化管法指定化学物質の種別	優先評価化学物質（No. 102）
	官報公示整理番号	（化審法）2-207

16. その他の情報

〔注意〕本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。